

【資料2】大学ボランティアセンタースタディ 2002年度活動経過

月	日	活動経過
4月	18日	企画研究・ボランティア研究グループ 立ち上げ 企画研究登録の申請準備（研究テーマなどの論議）
		研究内容・研究テーマを議論の結果「衣笠キャンパスの学生を対象に、ボランティアに関する実態・意識調査」をすることに決定
5月	2日	企画研究登録申請 ボランティアに関する意識調査の調査内容の検討開始
	23日	龍谷大学ボランティア・NPO活動センターへのヒアリング
	30日	きょうと学生ボランティアセンターのヒアリング
6月		調査のための趣意書・調査票作成
	24日	アンケート調査開始（6/24～7/7）
		< 大学生への調査 >
		国際関係学部・政策科学部・文学部・法学部・産業社会学部・夜間主学生
		< サークルへの調査 >
		学友会・中央任意団体・学術公認サークル・任意団体・学芸公認サークル・学芸系同好会・任意団体・体育会公認クラブ・体育会同好会・その他
7月		引き続き調査、集計開始（～7月末）
8月		ボランティア意識・実態調査 集計・グラフ化完了 分析開始
	28日	「これからのボランティア・ボランティアコーディネートについて考える集い」の企画準備開始 目的・内容・場所の検討

【資料2】大学ボランティアセンタースタディ 2002年度活動経過

月	日	活動経過
9月		「集い」(シンポジウム)の企画 シンポジスト3名とコーディネーター1名の出演とプログラムの原稿依頼
	3日	関西学院ヒューマンサービスセンターへのヒアリング
	26日	関東地域の大学ボランティアセンター等へのヒアリング
	27日	東京ボランティア・市民活動センター、明治学院大学ボランティアセンター、淑徳短期大学ボランティア情報室、国際基督教大学(ICU)サービスラーニング設置準備室
10月		「集い」準備 広報・プログラム作成・コーディネーターを含めた打ち合わせ
		企画研究中間発表報告書作成
	29日	面接法によるヒアリング調査
	30日	中間報告レジュメ作成合宿
11月	4日	「これからのボランティア・ボランティアコーディネートについて考える集い」開催
	26日	面接法によるヒアリング調査(～12月3日)
		ゼミナール大会準備 レジュメ・報告書作成
12月	5日	ボランティア関連科目の調査 ゼミナール大会報告書提出
	19日	ゼミナール大会参加
	21日	ライフデザインプロジェクト「地域福祉プログラム臨床研究会」で関西学院ヒューマンサービスセンター学生代表の山本さくら報告
1月		企画研究報告書完成
	14日	学部長表彰制度に報告書応募
3月		学部長表彰制度 教育賞受賞

【資料2】大学ボランティアセンタースタディ 2002年度活動経過

) 「これからのボランティア・ボランティアコーディネートについて考える集い」

2002年11月4日(祝) 立命館大学創思館で、ボランティアコーディネーター養成プログラム(VCTP)の受講生と修了生との交流や、様々な立場でボランティアやボランティアコーディネートに関わりや関心のある方が集まり、意見交流することを目的に開催した。当日は、第4期VCTP受講生や修了生、地域からの一般参加者など延べ65名が参加した。

第一部では、「立命館大学生400人とクラブ・サークル10団体を対象に実施したボランティア活動の実態調査研究」の中間報告を行い、ボランティアスタディセンターの設置を提言した。

第二部では、ボランティアに関わる様々な現場で働くボランティアコーディネーターをシンポジストとして迎え、「仕事としてのボランティアコーディネート」というテーマで、シンポジウムを行った。機関・施設の職員と会場に訪れた参加者との間で、コーディネートへの期待、コーディネーターとボランティアとの関係やそのあり方、フォローアップの必要性、施設とボランティアのニーズやそのズレをつなぎ、調整することの重要性など、白熱した議論が行われた。

この「集い」から、ボランティアやボランティアコーディネートに対する関心の高さをうかがうことができた。また、感想アンケートの中でも「もっとこういう場を設けてほしい」という声が多く聞かれたことから、今回のように、ボランティアをしている方、必要としている方、コーディネートしている方、研究している方、という様々な立場から意見交流できる「場」の必要性を強く感じた。

これからのボランティア・ボランティアコーディネート について考える集い

日時 11月4日(月)祝日 14:00~17:00(予定)
場所 立命館大学 創思館1階 カンファレンスルーム
参加費 無料
対象 ボランティア、コーディネート、ボランティアコーディネート
に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。

第一部 自主研究グループによる調査報告(14:00~)

「立命館大学生を対象に実施したボランティア活動の実態調査」

自主研究グループによる「立命館大学生400人とクラブ・サークル10団体を対象に実施したボランティア活動の実態調査研究の中間報告と提言」

第二部 シンポジウム「仕事としてのボランティアコーディネートに ついて」~VCTP 修了後の道~ (15:10~)

シンポジスト 中村真人さん(デイケアセンターひまわり園)

秋山知加さん(亀岡市社会福祉協議会)

山岡由佳さん(老人保健施設ぬくもりの里)

コーディネーター 立命館大学 産業社会学部 小澤亘教授

阪神淡路大震災が起こった1995年はボランティア元年とも呼ばれ、急速にボランティアが注目されるようになりました。しかしながら、ボランティアだけではなく、ボランティアとそれを必要としている人たちへの仲介役としてボランティアコーディネーターという専門職も注目されるようになりました。

それを受けて、立命館大学ではボランティアコーディネーター養成プログラム(VCTP)を設置することになり、今年で4年目となりました。この集いの主催である自主研究グループは昨年度VCTPを修了した学生で構成しており、産社の正課科目である企画研究の中で「ボランティア・スタディ・センター」の大学への設置検討を視野に入れ、立命生のボランティア活動実態と活動の具体的支援方法について調査研究してきたものを発表したいと考えています。

また、今回のシンポジウムのシンポジストは、VCTPを修了された方々が、実際の現場でどのように活躍されているのか、またどのような課題に直面されているのかなどについて、参加者のみなさんとも意見交換できればと考えていますので、友達も誘って奮ってご参加ください。

主催：VCTP 修了学生による自主研究グループ